

野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年9月後半）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）


品目	現在の生育状況
根菜類 （だいこん、にんじん）	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 （はくさい、キャベツ等）	ほうれんそう、ねぎ等の生育は概ね順調。 キャベツ、レタスは9月に入ってから、日照不足や平年よりも低い気温が続いているため、生育が遅れており、小玉傾向。
果菜類 （きゅうり、なす等）	トマト、ピーマンの生育は概ね順調である一方、きゅうり、なすは、9月に入ってから日照不足や平年よりも低い気温の状況が続いており、生育遅延。
土物類 （ばれいしょ、さといも、たまねぎ）	生育は、概ね順調。 さといもは、8月上旬の大雨により、品質低下や病害発生。

ただし、関東甲信地方では、9月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる予報（平成26年9月16日14時30分気象庁発表）がなされていることから、今後の気温の推移によっては、関東甲信地方を主産県とする葉菜類、果菜類では、平年を上回る価格が続くことが懸念。

(各論)

品目	主産県 (※()書きは 昨年9月の入 荷シェア。)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)
			9月後半
だいこん	北海道(59%) 青森(35%)	・生育は概ね順調であり、 <u>9月末までには、出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→
にんじん	北海道(97%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに、引き続き概ね平年並</u> で推移する見込み。	→
はくさい	長野(90%) 北海道(5%)	・9月に入ってから、日照不足や平年よりも低い気温が続いているものの、適度な降雨で、生育の遅れは解消されつつあることから、8月前半から続いた高値水準は解消に向かい、 <u>9月末までには、出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> に回復する見込み。	→
キャベツ	群馬(77%) 岩手(14%)	・9月に入ってから、日照不足や平年よりも低い気温が続いているため、生育が遅れており、小玉傾向となっていることから、 <u>9月後半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る</u> 見込み。	↗
ほうれんそう	群馬(30%) 栃木(23%)	・9月に入っからは、日照不足や平年よりも低い気温による生育の遅れは解消されつつあることから、 <u>9月後半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> に回復する見込み。 ・ただし、ほうれんそうは、特に <u>降雨や低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目</u> であるため、今後の気象によっては、9月後半も価格は平年を上回る可能性も懸念。	→

ね ぎ	青 森 (28%) 北海道 (16%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに、引き続き概ね平年並</u> で推移する見込み。	→
レ タ ス	長 野 (85%) 群 馬 (9%)	・9月に入ってから、日照不足や平年よりも低い気温が続いているため、生育が遅れており、小玉傾向となっていることから、 <u>9月後半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>	↗
き ゆ う り	福 島 (29%) 群 馬 (12%)	・後続の関東産地からの出荷に切り替わる中で、8月中旬以降の日照不足等で、生育遅延していること、2月の大雪による栽培用ハウスの倒壊の影響で作付が減少していること等から、 <u>9月後半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>	↗
な す	栃 木 (32%) 茨 城 (24%)	・9月に入ってから、主産地において、日照不足や平年よりも低い気温が続いているため、生育が回復していないことから、 <u>9月後半も引き続き、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>	↗
ト マ ト	青 森 (17%) 福 島 (17%)	・8月上中旬の大雨、日照不足等により一部の東北産地で生育が遅れているものの、他の産地の生育は概ね順調であることから、引き続き、安定した出荷数量が確保され、 <u>価格は概ね平年並</u> で推移する見込み。	→
ピ ー マ ン	茨 城 (36%) 岩 手 (30%)	・9月に入ってから、日照不足や平年よりも低い気温による生育の遅れは解消されつつあることから、8月後半から続いた高値水準は解消に向かい、 <u>9月末までには、出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> に回復する見込み。	→
ば れ い し ょ	北海道 (94%) 青 森 (5%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→

さといも	千葉(63%) 宮崎(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 一部産地において、8月上旬の大雨により、品質低下や病害が発生してきていることから、<u>9月後半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	
たまねぎ	北海道(87%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> ただし、海外産たまねぎの輸入動向によっては、価格は平年を上回る可能性。 	